ヘ、セメント労働組合門司支部　越智克己

五月の市會議員選挙に支部長白木清三氏を擁立し同志諸君の熱援で当選せしめ得たが、この政戦を契機として従来セメント會社に三百の會員を擁してゐた中立組合康午會は進歩派保守派の内紅が表面化し、既成政党に加担してこの政戦に同會の候補者を裏切り之を連中を除名したので被除名組は百五十名余の會員を引き具して共同購買會を組織したから従来の康午會は中立組合としての意義と價値を失し、既成政党にも転落出来ず各デパートに於て二人、三人と除々作ら組合加入者が増加してゐる。　消費組合も漸次内容を充実し、組合事務所と共に今西家主の渡替を機として大増改築を行い、伊藤會長の協力で産業組合加入の申請書を提出し、縣産業組合市部會に於て近日中正式認可の手続が採られることになってゐる。

ト、日本石炭坑夫組合　宮崎太郎

1、中央坑紛議――組合のアヂで自然発生的に争議が起り、嘆願書を提出したるところ、狼狽せる炭坑当局は即夜之を解決させたので組合より組織に関する傳單を貼付中、會社の労務係と暴行を受け三名の負傷者を出し、會社の無誠意と無理解を反省させるべく抗争十三日、遂に、将来絶対に暴力を行使せざることの誓約を得て解決。

2、大峯第二坑紛議――突如田川支部の幹部を解雇したが、事件は単に個々の職首問題ではなく組合破壊の目的を以て行はれたものであるが故に徹底的抗争を期して戦ってゐる内、後藤寺署の熱誠なる仲介に依り要求十項中六項を得て解決。

3、山田炭坑紛議――二十名許り動揺中との情報に依り、直ちに嘆願書を提出せしめたるところ組合との抗争を回避して、十項中八項の要求を容れ、戦はずして二十名の組合員を獲得した。

4、事務所建設の件

徹底的に頑迷な炭坑財閥は組合を仇視し、組合の破壊には如何なる悪手段も辞さない。殊に飯塚全市を其の勢力下に治めてゐる麻生炭坑の如きは家主を唆かして組合事務所を強奪することに奔命してゐる状態で、組合が組合の家を持つことは年来の宿願であったが、本日寧ろ前的な手続を完了して破格の廉價で土地と共に家屋を購入した。　場所は飯塚駅通りで来月上旬に移転の予定である。

チ、筑豊合同労働組合　宮崎太郎

従来直方市の昭和タクシーは営業路線を有しこの路線を借りて営業してゐたのであるが法規である路線の[illegible]禁止されたことを奇貨とした會社理不尽に抗して戦闘七日にして解決。

リ、第四回労資懇談會　伊藤會長

九州聯合會第五回年度大會に於ける決議に依って提唱された労資懇談會は福岡市に於て全国に魁けて開催されて以来、産業協力運動はその道程に於て必然的に労資懇談會に具体化する